

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウノおおた		
○保護者評価実施期間	2025年1月27日		～ 令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内環境	学習室と支援室を分けています。学習室は静かで宿題等に落ち着いて取り組むことができます。また、分からないところは教えてもらっています。 広いスペースの支援室は運動やゲームなど楽しい集団活動の提供をしています。	学習室と支援室を分けることで、子どもたちの学習と活動のスイッチの切り替えがスムーズにできます。その場に応じた行動ができるように援助していきます。
2	保護者との連携	連絡帳を活用しその日のことを伝えています。また、メールやLINE、送迎時などに、子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができるようにしています。	保護者からの相談や子育てに対する悩み等、いつでも気軽に相談できる環境作りを行っています。
3	自己選択・決定をする力の援助	自己選択・決定の幅が広がるように選択肢を提示してある程度 の見通しが立つようにしています。	「できた」「分かった」「やってみよう」「やってよかった」等の経験が積み重ねられるよう、様々な活動の提供を行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流が少ない。	父母兄弟が参加するイベントが少ない事です。	父母兄弟が参加するイベントの企画を行っています。
2	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもたちと活動する機会が少ない。	以前は市内の児童館との交流を行っていましたが、コロナ禍以降外出を控えてしまいました。	学校休業日はイベント等に参加し、地域交流をする機会を作っています。
3	他事業所との連携不足	各種催しの参加や他事業所との連携が取れていない。	参加できる工夫や、他事業所との連携が図れるように努力していきます。